



2020年東京オリンピック・パラリンピック大会 「復興『ありがとう』ホストタウン」事業 米国搜索救助隊2人を本市に招待し、 市民との交流を通じて支援への感謝を伝えました

▷問い合わせ先＝生涯学習課体育振興係(☎内線273)

- 本市を訪れた米国搜索救助隊員**
- ①米国連邦緊急事態管理庁ヴァージニア部隊代表
ヴァージニア州フェアファックス郡搜索救助隊
兵站課長 スコット・スキマー・ホーンさん
(Scott Schermerhorn)
 - ②米国連邦緊急事態管理庁ヴァージニア部隊所属
災害救助犬専門家 ロナルド・サンダースさん
(Ronald Sanders)



本市を訪れた米国搜索救助隊のスキマー・ホーンさん(左)とサンダースさん(右)

総領事館ビズリー領事をお招きし、「これからの国際交流」をテーマに対談を行いました。

3月中旬には、東日本大震災発生直後、本市で搜索救助活動に従事した米国搜索救助隊員のスコット・スキマー・ホーンさんとロナルド・サンダースさんのお二人をお招きし、消防署員や市民との交流を通じて、震災当時の献身的な活動に対し、あらためて感謝の気持ちを伝えるとともに、本市の復旧・復興の現状をご覧いただきました。

搜索救助隊滞在記

■1日目(3月11日)

東日本大震災犠牲者追悼式に参列。震災当時の搜索救助活動で目の当たりにした悲惨な現場を思い返しながら、犠牲になられた方々へ安らかなる祈りを込め、献花を行いました。

■2日目(3月12日)

盛保育園の園児手作りによる米国と日本両国の国旗を振り、大勢の市民が出迎える中、市役所内で開かれた歓迎セレモニーに臨みました。セレモニーでは、市長から

7年前の搜索救助活動への感謝の気持ちとお礼を述べました。

これに対し、スコット・スキマー・ホーンさんから、「温かく迎えていただき感謝申し上げます。皆さんとの絆が生まれ、とてもうれしい」とあいさつがありました。この後、応接室に移動。戸田市長から、震災後の復旧・復興の現状と課題について説明を受けました。

続いて防災センターに移動し、震災当時、ともに搜索救助活動を行った大船渡消防署員と再会。防災センター内部の施設や設備、署員の訓練の



盛保育園園児が2人を歓迎しました



防災センター庁舎を視察しました



大船渡消防署員と意見交換を行いました

■3日目(3月13日)

大船渡地区公民館で地元の方々との交流会に臨みました。交流会では大船渡東高校太鼓部が迫力ある太鼓演奏と華やかなバチさばきを披露。続

いての表千家大船渡清和会による茶道体験では、和服に着替え、お茶と和菓子を味わいました。太鼓部の生徒には、自らがお茶をたてて振る舞い、交流を深めました。

交流の最後に、「復興の様子が見られてうれしい。大船渡の皆さんの温かいもてなしに感謝申し上げます」との言葉を残し、会場を後にしました。

今後の取り組み

これまでも本市と米国との間では、夏休み期間中を利用して、子どもたちの英会話教室の開催や少年野球交流、七夕



大船渡東高校太鼓部の生徒と交流を深めました



茶道体験を通じて、日本文化に触れました